

東温市教育委員会 令和6年2月定例会会議録

開会の日時及び場所 令和6年2月29日(木) 午前 9時 00分
東温市庁舎 4階 405会議室

議事に出席した委員	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	大西 正志
	教育委員	大野 誠司
	教育委員	石丸 知美

議事に出席した職員	教育長	八木 良
	事務局長	森 賢治
	学校教育課長	松本 則一
	保育幼稚園課長	近藤 和明
	生涯学習課長	渡部 昌弘
	給食センター長	近藤 照雄
	学校教育課長補佐	好永 慶一郎
	学校教育指導主事	橋本 清
	学校教育課係長	藤岡 弘

傍聴人 なし

1 開会宣言(9:00)

好永補佐 (開会を宣す。)

2 教育長あいさつ(9:00)

八木教育長 最初に本教育委員会の傍聴者の対応を確認させていただきます。現在傍聴希望者はありませんが、この後希望者が現れましたら許可をすることによってよろしいでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える)

八木教育長 改めまして、皆さんおはようございます。今年の冬は温かいのか寒いのかよく分からないような、おそらく暖冬ではないかと思うのですが、ここ数日につきましては三寒四温という言葉がぴったり当てはまるような季節になりました。気温の変化が大きいので、委員の皆様におかれましても体調管理には十分お気をつけいただきたいと思います。

それでは本日の教育委員会よりしくお願いいたします。

まず、幼保小中のインフルエンザ等による感染状況ですが、油断のない状況が3学期当初より続いておりまして、また、稀ではあるのですが教職員のコロナ感染も見受けられますので、引き続き感染対策を学校の方には呼び掛けてまいりたいと思います。

さて、私立の中学校、私立の高等学校の入試及び県立高等学校の推薦入試が終わり、残すところ来週3月7日（木）、8日（金）に行われる県立高等学校の一般入試のみとなりました。合格発表は18日の月曜日に行われます。体調を整えて今まで頑張ってきた成果を発揮してもらいたいと思っております。

次に中学校の少年式ですが、式典の方は重信中学校が2月7日、川内中学校が2月9日に行われました。そして、記念行事である坊ちゃん劇場での観劇につきましては、2月7日に両中学校合同で行う予定でしたが、川内中学校の2年生がインフルエンザにより学年閉鎖になったことから、重信中学校のみで実施いたしました。なお川内中学校につきましては昨日28日に実施をしたところです。

ところで、先日の学校評価報告会では、委員の皆様には終日にわたり各学校の今年度の評価や取組に対し、適切にご指導・ご助言をいただきありがとうございました。現在学校を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。そのような中で、学校の取組を見ていただいた上で、今後の取組についてアドバイスをいただきました。この報告会をこれからの学校運営に繋げるためには、「学校が主として取り組まなければならないこと」、「教育委員会が取り組まなければならないこと」を確認、整理しまして、成果と課題を十分に把握した上で学校と教育委員会が連携、協力して来年度を迎えたいと思っておりますので、引き続きご指導宜しくお願いいたします。

また委員の皆様には、保育所の退所式、幼稚園、認定こども園の卒園式、小中学校の卒業式に来賓としてご参加いただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。

また、3月議会につきましては、明日3月1日に開会し、一般質問が3月5日、6日、そして21日に閉会となります。一般質問及び答弁内容につきましては3月の定例教育委員会で報告する予定にしております。

結びに当たりまして、本日は、「令和6年度東温市教育基本方針における重点施策」のご審議をはじめ重要な案件が多いと思っておりますが、今後の東温市教育のあり方に向けて忌憚のないご意見をお出しただけ

ればありがたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 前回会議録の承認

八木教育長 前回会議録の承認ですが、ご承認いただけますでしょうか。
委員全員 (意義ない旨伝える)

4 各課報告

松本課長 (当日資料1ページに基づき、学校教育課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤課長 (当日資料2、3、4ページに基づき、保育幼稚園課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

渡部課長 (当日資料4、5ページに基づき、生涯学習課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤所長 (当日資料6ページに基づき、学校給食センターに関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

八木教育長 各課からの報告について、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

大西委員 生涯学習課の8日のボランティア養成講座の防災資機材を体験、そして10日のジュニア体験塾のスキー&スノボ体験、このような体験を、不登校の子どもたちに友達から誘ってもらって参加させることによって、少しでも人と接触するような機会を増やしてあげられたら、その中で1人でも2人でも不登校が減っていったらありがたいと思います。

渡部課長 検討したいと思います。ありがとうございました。

大野委員 教育委員先進地視察研修で岡山県赤磐市に行かせていただいたのですが、赤磐市は校区がいろいろ分かれており、校区により部活動の地域移行をしようとしても人材が揃っている地域や揃っていない地域、いろいろ多種多様ででしたが、人材が揃っている地域から地域の人材を活用した部活動を少しずつ進めていこうというお考えでした。地域から盛り上げて部活動の移行をしようとしていたのが印象的で、東温市だと規模の小さい川内中学校の方がやりやすいかと考えたのですが、大変参考になる研修になりました。

一つお伺いしたいことがあります。小学校の卒業記念品は時計ですか。

松本課長 はい。そうです。

大野委員 生涯学習課で実施された大人と子どものふれあい広場スラッシュ切り

絵WSは、どのような内容なのですか。

渡部課長 線が書いてある紙があって、その線を切つてくり抜くと絵が立体的に浮き出るといった切り絵の体験です。

大野委員 不登校の対応について、収穫体験や料理を作る体験などであれば不登校児童生徒も関心を持つことがあるので、声をかけて何か登校のきっかけになるような機会を取っていただけたらと思いました。

大西委員 地域移行の視察について、東温市は部活動地域移行検討協議会もありますが、磐梨ドリームプロジェクト委員会と言う、同じような会がありました。地域移行できるクラブチーム、移行が難しいチームなどが分かりやすいように、一つずつの部活動について、部活動についての現状、指導者がどのぐらいいるか、活動する場所はどうかということをうまく整理していた感じです。それを参考に、一度整理してみるとより具体的になる感じがしました。

八木教育長 部活動の地域移行については、この後の方で話させていただきます。ほかにございませんか。

本田委員 先進地視察研修に行かせていただきましたけれど、先進的で理想的な取組をされていると思いましたが、ある程度条件が整った1校区での実践ということなので、それをそのまま東温市へ持ってくることは難しいかなという感じはありました。東温市に合った方法でできるところから取り組んでいくようにしたのでいいのかなと思いました。

生涯学習課の行事で、「防災資機材を体験」をボランティア養成講座で実施されておりましたが、一般の方で備蓄倉庫に何がどのくらい入っているのか、どういう機材があってどのように使うのかというのはあまり知られていないと思いますので、より実践的な防災対策になるこのような機会をほかでも持っていただくと良いと思いました。併せて総合教育会議の時にも、避難所の開設を地域住民が中心となって取り組むような方向でと言われていました。確かにそうだと思うのですが、学校の教職員もどうしても関わらないといけないことが起きてくると思います。そういった意味で、地域と学校と行政が何らかの形で情報交換しておく必要があるということを感じました。それと卒業式入学式の関係ですが、記念品のことを確認しておいたほうがいいのかと思います。

松本課長 小中学校の卒業記念品について、小学校が電波時計です。中学校は校歌のオルゴールです。

近藤課長 保育所と幼稚園の卒園記念品については、黄色い傘です。

本田委員 入学式の記念品についてもお願いします。

松本課長 小学校は探検バックという肩から下げるもので、中学校は自転車のヘルメットです。

大野委員 防災の事で不安に思っていることがありまして、学校の防災倉庫を開けたらほとんど何も入っていないです。市の方は必要な場所に必要な分だけ物資を届けますと言うのですが、能登半島の地震を見ると、道路が崩壊して届けられないことがありました。普段から物資をある程度置いておいたら、みんなが分け合って1日、2日生活ができると思います。特に我々の所では津波はないけれど小さな橋が落ちると思います。大きな橋は検査して丈夫にしている工事を見かけるのですが、地域にある小さな橋が壊れて落ちると行くこともできないようになりますので、その点を危機管理課の方にもお伝えできたらと思っております。

松本課長 各学校の防災倉庫の状況を確認して、必要であれば危機管理課と調整しながら対応したいと思っております。

本田委員 給食の試食をさせていただいた感想ですが、調理の工夫でパクチーの癖が逆に旨味になっていたと感じました。様々な工夫や努力で安心安全でおいしい給食を提供していただいていること、ありがたく思っております。大人にならないと旨味に感じないような食材もあると思うのですが、多くの食材は小さな時から慣れていくとその旨味を感じるようになっていくと思っておりますので、今後もいろいろな挑戦をしていただけたらと思っております。ありがとうございました。

近藤所長 ありがとうございました。

大野委員 献立委員会というのが時々あるのですが、各学校のPTAから1人ずつ出てきて、そこで献立を決めながら単価や購入店のバランスも考えたりしながら、子どもの口に入るものを、力を合わせて作っており、素晴らしいと思えました。

八木教育長 東温市の給食は全国に誇れる給食ですので、また、そういう意見があったとお伝えください。

近藤所長 わかりました。ありがとうございます。

本田委員 3月の教育委員会の日程について確認をお願いします。

好永補佐 (教育委員会3月臨時会と3月定例会の日程について説明する。)

5 その他

(1) 教育委員会共催・後援事業について(令和6年1月承諾分)

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 この件につきましてご意見ご質問ございませんでしょうか。

大西委員 55 番の国際交流&イングリッシュキャンプというのは、東温市からもどなたか学生さんが参加するのですか。

松本課長 参加者は小学生となっております。県下から 100 人程度参加ということですね。

大西委員 小学生ですか。そういうので英語に慣れるというのはいいことですね。日程を見たら 1 泊 2 日になっておりましたね。

大野委員 54 番の TOSS 春の教育力 UP フェス 2024 について、3 月 30 日から 5 月 18 日ということは、この期間ずっとあるのですか。

松本課長 会場が今治、伊予市、宇和島市の 3 ヶ所あり、その期間ということですね。楽しい、分かる、子どもが熱中する授業の作り方というテーマです。

(2) その他の報告・協議事項について

ア 令和 6 年度保育所・幼稚園・認定こども園の運営について

近藤課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 ご意見ご質問等ございませんか。

大西委員 0 歳児は増えたり減ったりが激しいという感じですね。それだけ各保育所の所長さんは大変だと思います。0 歳児の場合は 1 人の保育士さんが 3 人ぐらい見るのですか。

近藤課長 はい。そうです。1 人の保育士が見ることができるのが 3 人と決まっております。ちなみに、0 歳児はものすごく増えています。この表で見るとそうでもないように見えるのですが、公立保育所で保育士数が限られていて対応できないので、民間の小規模保育所の方に回ってもらっている状況です。

大野委員 私は東谷校区に住んでいるので東谷幼稚園の休園は非常に悲しいのですが、働いている親御さんも多いので、幼稚園、保育所に行く人が多くなっているのも現状でして、西谷のように地区外から来てくれる人を見つけて頑張ったらどうにか免れたのかなと思いました。地域の人にも、そういう努力もあるというお話をさせていただこうと思いました。

八木教育長 東谷については、今後の見込みからいくと子どもさんおいでるんですよ。

近藤課長 そうですね。西谷の倍以上はいたと思いますので、1 年後とか 2 年後、再開する可能性は大いにあると思います。

石丸委員 休園、休所ということですが、今後開所の可能性があるということで、保守はして、設備など維持していくということなんですね。

八木教育長 はい。一応いつでも開けるようには準備はしています。

近藤課長 上林保育所は、地元の方に維持管理をお願いしておりますし、拝志保育所から職員が定期的に上がっております。空気の入替えも必要ですし、秋は落ち葉もすごいし夏は草も凄いので。常に再開できるようには保っているつもりです。

石丸委員 いろいろ地域の方のご協力というのもあるんですね。

近藤課長 そうですね。ご協力いただいております。

大西委員 東温市の場合、幼稚園、保育所が、大きな地震があった場合は親御さんが帰ってくるまで預からないといけないという状況になると思います。そうしたときに預かった子どもさんのために、ある程度ミルクや食べ物など用意をしてあげたほうがいいと感じております。

イ 令和6年度東温市教育基本方針における重点施策について

好永補佐 (資料に基づき、全体の説明をする。)

近藤課長 (資料に基づき、保育幼稚園課分の説明をする。)

松本課長 (資料に基づき、学校教育課分の説明をする。)

渡部課長 (資料に基づき、生涯学習課分の説明をする。)

八木教育長 ご意見等ございましたらお願いします。

大西委員 子育て環境の充実について、えひめ人口減少対策総合交付金事業の拡充は、国からもそういう政策が出ているところで、できるだけ多く増やしていただいて子育てしやすい環境を作っていただけたらありがたいと思います。

本田委員 大きな変更はないですね。必要な内容だけの追加だろうと思うので問題ないかと思います。

ウ 東温市学校等の在り方検討委員会の設置について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 ご意見ご質問等ございませんか。

大西委員 私は4年生の時に松瀬川小学校から南吉井小学校に転校しましたが、私自身の体験からすると、友達もたくさんできて、転校して非常に良かったという印象です。子どものことを考えたら、先ほど施設の維持費の問題が出ましたが、施設を維持するよりも小さい学校は統廃合して、通学バスを用意し、統廃合された学校から通う学校まで何箇所か拾ってあげた方が、安全に子どもたちが通学できるのではないかというのが私の気持ちです。

大野委員 可能な限り学校は残して欲しいというのが私の感想です。大きい学校

と統廃合してしまったら、放課後児童教室等に残ってそのあと帰るという方法をとる家庭が多くなると思います。施設等の費用はかかりますが、幼稚園でも3人以下になったら休園するという方針が出ていますので、そういうことが可能な間はなるべく続けていただいて、そして3名になったら休園をするというような形で進めていただけたらなと思います。

八木教育長 人数をある程度決めてというご意見です。

本田委員 学校がなくなるのは地域にとって大きな問題で、学校がなくなった地域を見ますと、地域そのものが一気に衰退してしまっている状況かと思えます。ただ、子どもは集団の中で生活する方が育ちにもいいと思いますので、そうなるのとどの辺りが切れ目か、ということが問題になってくると思えます。人数について今後検討していくのがいいと思います。10人を切ると学校として運営等苦しいところが出てくるかと思えます。

大野委員 松山市などで小さい学校はどうなったか、中島の学校はどういう風にしたか、そういうことも参考資料として検討の時には使っていただけたらと思えます。学校がなくなったら地域が衰退してしまうことになると思えます。例えば学校の勉強だけではなく、お祭りやいろいろな地域の行事にもコミュニティスクールで地域の人と関わって学校は運営していますので、地域の文化そのものが衰退して、そして今我々が要望している開かれた学校づくりそのものが不可能になってきて、地域の人には学校が無くなってしまったら無力感を感じると思うので、総合的に判断していただきたいと思っております。

八木教育長 委員さん方から何点かご意見出ましたが、こういった意見も、今後在り方検討委員会で協議されるということによろしいでしょうか。

エ 部活動地域移行について

八木教育長 (資料に基づき、全体の説明をする。)

藤岡係長 (補足説明をする。)

八木教育長 ご意見等、思いつくままで構いませんのでいただけたらと思えます。

大西委員 私は教育長さんが言われた形で進めるのが一番いいと思います。ただその中で1点だけ問題になってくるのが指導者へ支払う料金です。当初赤磐市では1時間1,600円で計画を立てていたけれど、今は1,000円に落としても赤字が出ているとのこと。あくまでもスポーツは子どもの教育の一番大事な基本になるという大義名分で、全国の教育委員会が連携して教育予算としてきちんと親御さんの負担のないような仕組みを作っていないといけない大事な作業、移行事業ではないかと思えます。予

算を国からもきちんと貰い、指導者へ渡す。そうして親御さんの負担をできるだけ無くしてあげるといことはして欲しいです。

八木教育長 予算が絡んできますので、スタートアップの時期は市の公費も入れないといけないと考えていますが、将来的には受益者負担という形で独立して運営できるようになればいいと思っています。

大野委員 私も教育長さんのお話のような進め方がいいと思っております。一つ心配なのは、外部の指導者に指導していただいたときの健康安全面です。何かが起こったときの責任体制、治療費。部活で事故が起こっている事例が非常に多いので、日本スポーツ振興センターが使えるのかどうか、その辺りをしっかり検討しながら進めていく必要があると思いました。

八木教育長 一番そこが問題です。当面は部活動としてやるので引き継げると思っておりますが、将来的には考えていかなければならないと思っております。

本田委員 学校が絡んでやっていく方が、経済的にも時間的にも保護者の負担も少なくなるでしょうし、怪我や子ども同士のもめ事などの問題が起きた時の対応も学校が関わることでうまくまとめることができると思います。ですから、土日も平日も外部指導者の方が来ていただくような形になっても、学校が顔を出す、定例の会に行つて意見も言える、そういう体制を残しておくことが必要かと思つています。将来的に、社会的な体育が進んでくれば、完全にそちらへ移行ということもできるとは思つていますが、まずは最低でも10年は学校が関わつていく必要があると思つています。

八木教育長 今言われたことは国や県からも明示されており、校長の指導の下で外部指導員も指導をしていくという大原則があるので、そのような教育的な配慮をしながら、体罰などがないように校長の指示に従つて運営するという形で進めていくようにしております。

石丸委員 保護者、中学生、学校も参加して、主体的な活動のあり方を熟議ということで、保護者もいろんな意見があるので、これは大変だと思つました。ただ、皆さんの不満などをここで出しておくことでビジョンが見えてくるというか、回り道に見えて一番の近道かなと思つています。保護者対学校だと保護者は主張するばかりだと思うので、中学生本人がいることで折れるところは折れてくれると思つていますし、あとはコーディネーターの手腕かと思うので、コーディネーターの方も特別な方がいるのかなと思つました。

八木教育長 これを進めていく上で、今言われたところが一番の肝になるのですが、保護者、学校、行政、地域が当事者意識を持たないと、他人事で「学校やってよ」「行政やってよ」と言つたら批判しか出ないです。そうではな

く、外部指導者がいないのでみんなで探しましょう。保護者も探します。行政も探します。もちろん中心になるコーディネーターがいろんな機関に呼びかけて探してきます。というので、自分たちも探すというような、やはり肝は当事者意識だと思います。東温市の子どもたちを東温市で育てるんだという、この当事者意識を根付かせることに注力していきたいと思っております。事務局から意見等あればお願いします。

藤岡係長 試行錯誤の中の一つですのでうまくいくかどうかはまだわかりませんが、やはりみんなが当事者意識を持って自分たちが関わってやっていくんだという意識を持たせることができ、皆さんでそれを運営していこうということになればいいと思います。行政としても、当事者から「こういうことがしたいけど何かサポートとかありますか。」というような形でこられた方が動きやすいと思いますので、東温市がそういった形になったらと思いきょうい形で試させてもらったらと思っております。

大西委員 取組の方向性を早め早めにニュースとして流しておいたほうが、かえって協力を得られやすいというか、大事だなと感じました。

八木教育長 今回も先走った感もあるのですが、こういう風にやりますと言ったことでいろんな問題が出てきて対応できるようになりました。

大西委員 こういう風に出すだけでも父兄も子どもたちも考えますからね。

八木教育長 コーディネーターが肝になるのですが、ありがたいことに東温市は子どもたちのために力を尽くしますという方が結構おられます。そのおかげで今年度と昨年度、コミュニティスクールの全国フォーラムを東温市ですることができた経緯がありますので、そういう地域のパワーをコーディネートするところに期待をしているところです。

(3) 令和6年4月定例会の日程について

令和6年4月定例教育委員会

日時 令和6年4月23日(火) 9時00分から

場所 405会議室

(4) 令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 ご意見ご質問ございませんか。

大西委員 今の時代ですから、審査する方は大変ですができるだけ許される範囲で認めてあげていただけたらと思います。

(5) 令和6年1月末現在のいじめ・不登校の状況について

松本課長 月3分の1以上欠席者における小学校の不登校人数は17名、病気人数は2名、その他人数は0名、小学校の月3分の1以上の欠席者人数は計19名です。中学校の不登校人数は75名、病気人数は3名、その他人数は0名、中学校の月3分の1以上の欠席者人数は計78名です。小中学校の合計の月3分の1以上の欠席者は97名です。

30日以上の不登校は、小学校で22名、中学校で83名、小中学校の合計が105名となっております。

非行について該当はありません。

いじめについて、認知件数は小学校5件、中学校1件、合計6件です。いじめの解消状況について、4月以降の累計では、いじめが解消している(3か月を目安に解消を判断)が小学校45件、中学校22件、解消に向けて取組中(3か月经過していないもの)は小学校12件、中学校6件、解消に向けて取組中(3か月经過しているもの)が小学校2件、中学校1件で、合計88件です。

— 非 公 開 —

八木教育長 以上で、協議していただく内容を終わりました。それでは進行を事務局にお返しします。

好永補佐 (閉会を宣す。)
(午前11時10分閉会)